

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・美術創造	単位数	4
		学科・学年・学級	普通科(創造表現コース) 2年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い創造活動を通して創ることのよろこびを知り、意欲的に制作する態度を養う。 美しさを探求し積極的に感じとる心を養う。 作品を鑑賞する方法を学び、事物を見抜く力を養う。
使用教科書・副教材等	新 美術 表現と鑑賞(開隆堂)

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現することができる。	授業態度、制作に対する意欲や姿勢	10%
b. 発想や構想の能力	多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。	制作作品など	50%
c. 創造的な表現の技能	意図に応じて材料、用具を活かして表現することができる。	制作作品など	30%
d. 鑑賞の能力	美術の働きや美術作品の美しさ、特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうなどすることができる。	鑑賞態度など	10%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4～6	36	絵画(イメージ)	古典音楽をモチーフに絵画表現を行う ・さまざまな音楽を聴きイメージをスケッチする ・楽曲を決め鑑賞し、イメージを膨らませる ・楽器の音を具体的なイメージにする ・楽曲を起承転結に分け4場面のイメージ画を制作する	○		○	○
	6～9	34	篆刻	篆書を学習し、落款の制作をする ・篆書について学習する ・落款について学習する ・朱文と白文について ・落款の制作	○	○		○
後期	10～12	34	土笛の制作	粘土を使って土笛とオカリナを制作する。 ・音の出る作品を作る ・笛の音が出る仕組みを学ぶ ・制作した楽器で演奏をする	○	○		○
	1～2	24	文と絵を組み合わせた水墨画の制作	和歌を選び文字と絵画で総合的に表現する ・和歌を選びその内容を学ぶ ・内容に沿った情景をイメージする ・イメージに合った文字を表現する ・イメージに合った総合作品の制作を行う	○		○	○
	3	12	陶印	篆刻の学習で学んだ基礎的技術をもとに、陶器の印を制作する ・絵付けの基礎について学習する	○	○		○